

外郭団体特別委員会審査から③

神戸市議会外郭団体に関する特別委員会の審査が2024年8月23日と9月5日、11月8日、12月20日にひらかれ、日本共産党神戸市会議員団の味口としゆき議員と朝倉えつ子議員が外郭団体の運営状況などについて質問しました。

9月5日 建設局

公益財団法人 神戸市公園緑化協会

王子動物園の 公益性を守れ

味口としゆき議員

公益財団法人神戸市緑化協会は、市民の緑化意識の高揚と緑化活動支援や動物園等の公園施設を含む都市公園、自然公園の保全をはじめ、王子動物園内遊戯施設の管理運営等をおこなっています。味口議員は、王子公園再整備計画に沿って協会の主要な収益事業である遊戯施設を手放せば、公益性が弱くなると指摘し、公益の担い手という役割を協会任せでは

なく、市として財政基盤もきちんと守る方策を講じるべきと質しました。

答弁ダイジェスト

味口議員：市の再整備事業で公益性が弱まることになるのは本末転倒だ。

常務理事：再整備で公益性が弱まるとは思っていない。収益を還元できるように市と協議していきたい。

味口議員：経営改革プランで公益目的の事業費率70%以上を団体目標として示している。収益事業が民間に渡り続けることに市としても相当配慮する必要があるのではないか。

小松局長：遊びの広場やにぎわい広場の再配置の詳細はこれから詰めていく。



公益事業を縮小するとか、そこをおざなりにするようなことのないように、局として民間企業の提案も受け入れながら公平に取り組んでいきたい。

一般財団法人 神戸市学校給食会

地産地消の拡大、 栄養教諭の配置で 食育推進を

味口としゆき議員

一般財団法人神戸市学校協給食会は、神戸市内の小学校、義務教育学校、特別支援学校及び中学校の学校給食の副食食材の調達・供給をおこない、食育・地産地消の推進に取り組んでいます。味口議員は、地産地消率の目標設定の引き上げと、中学校給食の食育推進のために各校に栄養教諭を配置するよう求めました。

答弁ダイジェスト

味口議員：(地産地消) 20%という目標の根拠は、2017年が19.8%と一番高かったからとしているが、目標設定が低く消極的ではないか。

高田事務局長：ご指摘の通り神戸の子どもたちが食べる給食の食材は、全て神

戸産が一番理想だから、数字ありきではなくできるだけ神戸産で賄いたいという思いで取り組んでいる。

味口議員：食育が進む中で中心になるのは栄養教諭だ。中学校ではせっかく全員喫食性制になったのに、栄養教諭が少ないのは問題だ。市単独で配置しないのか。

福本教育長：栄養教諭がいたら非常に助かるという現場の声もある。私も(栄養教諭が)おられることは理想だと思うが、市でやる順番は考えていかなければいけない。

その他の質問

- 価格高騰、米不足への対応について

2月18日より2月議会が開会します

2月18日(火)	本会議 (議案質疑)
19日(水)・20日(木)	常任委員会
25日(火)・26日(水)	本会議 (代表質疑)
2月27日(木)～3月10日(月)	予算特別委員会局別審査
3月13日(木)	予算特別委員会 総括質疑
17日(月)	予算特別委員会 意見表明・意見決定
19日(水)	本会議
21日(金)・24日(月)	常任委員会
27日(木)	本会議
28日(金)	本会議 (一般質問)

11月8日 企画調整局

公益財団法人 神戸医療産業都市推進機構

市税投入するなら 市民のために なるよう検討を

朝倉えつ子議員

公益財団法人神戸医療産業都市推進機構は、市民福祉の向上、神戸経済の活性化や国際社会への貢献などを目的として事業をおこなっています。機構は神戸市が多額の市税を投入しているにも関わらず、2024年度の決算で4.5億円の赤字を計上しています。朝倉議員は、市民の税金が充てられているのに市民福祉の向上に対する効果や恩恵が得られていないと指摘し、医療産業の推進をやめ外郭団体の在り方も含めて検討し直すよう求めました。

答弁ダイジェスト

朝倉議員：高度医療の発展は本来は国がやるべきことだ。市民は身近な病院の充実を求めている。市民が実感するような効果もなく、毎年の出捐金を市の一般財源から出していることについての検討はしたのか。

西川局長：研究の目標や途中経過を発信し、ご理解いただくことが市税を頂いている市民に対する責任だと考えている。

朝倉議員：報告書には「ポーアイ2期を中心に神戸市全域を医療産業都市として捉え、企業へのサポート機能強化を図る」、「都心・三宮、ウォーターフロントの再整備や神戸空港の国際化などの施策が徐々に展開されるこの機運を逃がさず取り組みを展開することが重要」だと書かれている。経済効果も波及効果も分からないまま進めるのではなく、市として



検証することが必要だ。

西川局長：報告書は市の財政負担とか体制の拡充というより、関係するネットワークや連携するフィールドを広げていくという観点で書かれている。

朝倉議員：これまでの25年間の検証をきちんとやらなければいけないというのが、与党も含めた意見だ。在り方の検討も含めゼロベースで見直すべきだ。

12月20日 健康局

地方独立法人 神戸市民病院機構

働き方改革を 着実に実行するために 抜本的な医師の増員を

朝倉えつ子議員

地方独立法人神戸市民病院機構は、神戸市立医療センター中央市民病院、西市民病院、西神戸医療センターと神戸アイセンター病院の運営をおこなっています。中央市民病院の2021年度の実績では、ほとんどの医師が時間外労働月80時間の過労死ラインを越えています。産婦人科では医師の働き改革として2029年ま

でに時間外労働をゼロにする計画を申請していますが、2024年度の目標では解消するどころか逆に時間外労働は増えています。朝倉議員は、医師を抜本的に増員し時間外労働を解消すべきと質しました。

答弁ダイジェスト

朝倉議員：具体的な努力がわからない。2029年のゼロ目標は本当に達成できるのか。

理事兼法人本部長：法律の趣旨に基づいて、AIを使ったり仕事を分担するなどさまざまな手立てで取り組んでいきたい。

朝倉議員：医師の質を落とさずに過酷な労働を改善しようとするれば、医師や職員の増員しかない。コロナ禍では医師数

病床数を確保できない脆弱な医療体制が問題になった。この教訓をしっかりとつかんで、国に対しても抜本的な体制強化を求めるべきだ。

花田局長：脆弱とは思っていない。新興感染症に対応できる医師数が十分でなかった点は力を入れていきたい。

朝倉議員：実際にコロナで入院できない状況が明らかになり、体制そのものの強化が求められている。医師を増やし体制強化をして時間外労働を抜本的に解消すべきだ。

その他の質問

- 文書料等の変更、改定について

その他の質問

8月23日 港湾局

阪神国際港湾株式会社

- 集貨事業について
 - カーボンニュートラルポートの実現について
- 味口としゆき議員

株式会社神戸ウォーターフロント開発機構

- 新港町のマンションの問題について
- 味口としゆき議員

神戸空港貨物ターミナル株式会社

- 取扱貨物量低迷について
- 朝倉えつ子議員

8月23日 福祉局

公益財団法人 こうべ市民福祉振興協会

- 介護認定業務について
 - しあわせの村のリニューアルについて
- 朝倉えつ子議員

9月5日 建設局

神戸市道路公社

- 市道山麓線への大型車両進入について
 - 新神戸トンネルの延伸事業について
- 9月5日 建設局団体の審査で質問する朝倉えつ子議員
- 朝倉えつ子議員



11月8日 企画調整局

神戸市公立大学法人

- 高専の運営費交付金について
 - 外大の学費軽減について
- 味口としゆき議員

12月20日 健康局

公立大学法人
神戸市看護大学

- 保健師の育成について
 - 入学料、授業料、授業料の独自支援について
 - 教育環境の改善について
- 12月20日 健康局団体の審査で質問する味口としゆき議員
- 味口としゆき議員

